

## お知らせ

## 長倉三郎賞 設立について

公益社団法人日本化学会  
同 会務部門会議

令和2(2020)年4月に逝去された日本化学会名誉会員・長倉三郎先生は、自らのご研究に邁進されるとともに、早くから、独創性と独自性を特に重視して後進の育成にも尽くしてこられました。このような先生のご遺志により、このたびご遺族から、日本および世界の化学の発展と後進の化学者の育成のために、公益社団法人日本化学会に4億円を超える多額のご寄付をいただくことになりました。

本会では、運営会議ならびに会務部門会議において準備委員会を設けて慎重に審議し、理事会での決定を経て、このご厚意をありがたくお受けし、長倉先生のご遺志を将来にわたって長く達成するために、ご寄付を本会の「長倉三郎賞事業資産」とし、これに基づき、本年度〔令和3(2021)年度〕から新たに「長倉三郎賞」を設立することにいたしました。

「長倉三郎賞」を新設するにあたり、日本化学会理事会において、本会の定款に基づき、表彰規程を改定し、また新たに「長倉三郎賞選考規則」および関連規程を制定して、同賞の運営と受賞者の選考にあたることといたしました。

以下に、「長倉三郎賞」の詳細について会員各位にご案内申し上げます\*。

これらに示されていますように、「長倉三郎賞」は、研究・開発における業績の独創性と独自性を特に重視して未来の化学を担う将来性のある受賞者に授与する点、多様性に着目して幅広い候補者から受賞者を選考する点、用途を制限しない比較的高額の副賞を個人に授与する点、等においてこれまでの日本化学会各賞とは一線を画した新しい賞であり、次世代の優れた化学者を育成し、化学と日本化学会のさらなる発展に大きく寄与すると期待しております。

## 長倉三郎賞

## 対象

長倉三郎賞は、公益社団法人日本化学会の個人正会員または教育会員であって、化学に従事し、特に独創性の優れた研究成果または業績をあげた者で、かつ高い将来性が期待できる者に授与する。

## 件数

授賞件数は毎年1名以内とする。ただし該当者なき場合はこの限りではない。

## 表彰

受賞者には、表彰楯および副賞1,000万円を授与する。

## 選考

長倉三郎賞においては受賞候補者の推薦を募らず、本賞の授賞年度における、日本化学会賞を除くすべての日本化学会各賞(下記)の受賞者を、長倉三郎賞の受賞候補者とする。

学術賞, 進歩賞, 化学技術賞, 技術進歩賞, 化学技術有功賞,

化学教育賞, 化学教育有功賞, 功労賞, 女性化学者奨励賞

これらの受賞候補者について、運営会議においてその功績内容を審議し、受賞最終候補者1名以内を選考し、理事会において承認を経て受賞者を決定する。

なお、選考においては、受賞者の多様性に留意する。

以上

\*長倉三郎賞の詳細および諸規程は、日本化学会の公式ウェブサイトにも掲載しております。

## —日本化学会秋季事業— 第11回CSJ化学フェスタ2021 開催のお知らせ

化学フェスタ実行委員会

—日本化学会秋季事業—第11回CSJ化学フェスタ2021を、10月19日(火)~21日(木)の日程でタワーホール船堀での現地開催もしくはオンラインにて開催します。「CSJ化学フェスタ」は2011年の第1回開催以来、多くの方々にご評価いただいております。昨年は約3,000名の方々にご参加いただきました。今回も設立当初からの趣旨・目的である「産学官の交流深耕」と「化学の社会への発信」に沿って、参加して良かった、次回も楽しみだ、周りの人も誘いたいと言われるような企画を計画、実施します。産学官の三者にとって、様々な角度から議論と情報交換ができることはもちろんのこと、化学を通じた人的交流の機会を提供できるよう準備を進めていきますのでどうぞご期待下さい。最新情報は、ウェブサイトでご確認下さい。

記

会期 2021年10月19日(火)~21日(木)

会場 タワーホール船堀(東京都江戸川区船堀4-1-1)もしくはオンライン開催

実行委員長 加藤隆史(東京大学), 矢作和行(花王)

重要な日程 ポスター発表・R&D展示募集期間 6月1日~7月7日(予定) ※詳細は本誌6月号

事前参加申込期間	8月2日～9月15日(予定) ※詳細は本誌6月号
通常参加申込期間	9月16日～会期当日(予定) ※詳細は本誌6月号
プログラム公開(Web)	8月2日(予定)
予稿集発行(Web, 冊子)	9月24日(予定)

## 問合せ先

日本化学会 企画部 矢部・高塚・白石・河瀬

E-mail: festa@chemistry.or.jp URL: <https://www.csj.jp/festa/2021/>

## 環太平洋国際化学会議 PACIFICHEM 2021 —ハイブリッド開催に向けて—

Pacifichem, Inc. (パッケム法人), Pacifichem 2021 国際組織委員会

新型コロナウイルス COVID-19 の世界的流行 (パンデミック) の見通しが困難な状況下で、遠隔方式による国際会議 (ヴァーチャルイベント) が求められておりますが、Pacifichem, Inc. ならびに Pacifichem 2021 国際組織委員会では、本年 2021 年 12 月 16～21 日に開催予定の Pacifichem 2021 を、ホノルル会場での現地参加とオンラインでの遠隔参加を組み合わせた「ハイブリッド形式」での開催 (hybrid congress) の検討を進めております。

●**ハイブリッド国際会議** ハイブリッド形式の国際会議は、渡航や大規模集会の開催が制限されている現在の状況下では、有効な方法であり、また with コロナにおける新しい様式は今や地球規模で取り組むべき緊急課題であり、大規模な国際会議の運営方式にも変革が求められるなか、Pacifichem 2021 のハイブリッド開催が1つの可能性となると期待されます。

Pacifichem 2021 をハイブリッド形式で開催する場合、研究発表 (口頭とポスター) と質疑応答は、従来どおりの現地会場での発表と事前録画による遠隔発表の両方の同時開催を検討しています。その場合、参加者と発表者の方々には、ご希望により、**現地参加・発表と遠隔参加・発表のどちらか**をお選びいただけるようにいたします。これについては、追ってご希望の参加・発表形式をおたずねする予定です (オンラインによる申し込み)。

また、開会式や Pacifichem Lecture (基調講演) などの一部の限定数の行事や講演は、現地開催を行うとともに、それらの中継映像で同時に遠隔配信する方式 (**ライブストリーミング**, live streaming) も検討しております。さらにこれらのライブストリーミング講演などは、参加登録された方々に、会議終了後も一定期間オンデマンド配信を行うことも計画しております。

参加者の満足度をいかに高めるかは、どのような開催形式であっても、Pacifichem における最大の課題です。オンラインでの参加であっても現地参加と同レベルの臨場感のある研究交流やネットワーキングの機会が提供できるよう、また一方、現地参加者には、ホノルルの強みを活かしたその場に行かなければ得ることができないような体験を提供できるよう、ハイブリッド開催に伴う課題、会場での感染予防対策の実践などに関する検討を鋭意進めております。皆様のご意見、ご要望などもぜひお寄せ下さい。

●**知的財産と優先権の保護と機密保持** 遠隔方式の国際会議において、講演資料、特に未公開データなどを含む講演内容の、講演者の意図に沿わない拡散が懸念されています。研究成果の優先権・先見性や特許などの知的財産に係る機密情報の秘匿性とデータ保護の問題は、遠隔方式の会議においては、以前にも増して拡散や流出が容易となり、また一度開示された情報をコントロールすることは大変難しいことはご承知のとおりです。Pacifichem 2021 国際組織委員会においても、これらの諸点について十分に配慮しつつ、法務専門家の助言も得て、今回のハイブリッド形式での開催を検討しております。本会議における研究発表 (口頭およびポスター) においても、組織委員会として機密保持には万全の配慮をいたしますが、同時に発表者の皆様にも、未公開データの拡散を防ぐため機密重視のデータは公開予定の資料や録画から削除するなどの対応をお願いする可能性もあります。ご理解いただければ幸いです。

組織委員会では、このように皆様のご意見を伺いつつ、これらの諸点を慎重に検討し、開催形式の具体的なご案内は、下記の公式ウェブサイトですべて更新して参ります。

●**発表申込み (abstract submission)** すでに Pacifichem 2021 公式サイトでご案内しておりますように引き続き、講演申込みを 4 月 12 日 (月) 24:00 (米国東部標準夏時間 EDT) を期限として受付けております。昨年からすでに申し込みをいただいた方々も多いかと思いますが、さらにふるってご講演をお申込みいただけますよう重ねてお願いいたします。

■ Pacifichem 公式 Web サイト <https://pacifichem.org/>

■ 講演申込み URL : <https://pacifichem2021.abstractcentral.com/>

受付締切 : 2021 年 4 月 12 日 (月) 24:00, 米国東部標準時 (夏時間) EDT (予定)

採択通知送付 (メール) : 2021 年 6 月 1 日 (火), 米国東部標準時 (夏時間) EDT (予定)

※各講演者に対し、現地もしくはオンライン講演のいずれを希望するかの調査を合わせて行います。

なお、昨年2020年中に申し込まれた講演につきましては、本年秋ごろを目途として Technical Program にて公開し、ご指定のシンポジウムでの講演予定をご案内いたします。受領済みの講演要旨に修正や追加などございます場合には下記ご参照の上、事務局までメールにてご連絡願います。

いまだ収束の見込みが難しい COVID-19 へのご懸念やご不安を払拭できぬまま、ご講演の再募集に関してご案内差し上げることとなりましたが、2021年12月には、ぜひとも Pacifichem を開催して皆様のお気持ちにお応えできるよう、今後も周到に鋭意準備を進めて参ります。どうぞ引き続きよろしくお願いたします。

※Pacifichem 日本語版 Facebook をフォローしていただくと、随時更新される Pacifichem2021 の最新情報をご覧いただけます。

<https://www.facebook.com/Pacifichem.CSJ>



### 受領済みの講演に関するお取り扱いについて

#### ・変更等がない場合

昨年2020年中に Pacifichem 講演申込みシステムからご登録済みの講演要旨は、Pacifichem システム内で部外秘・非公開で保管しております。ご変更等ない場合には、何もご対応いただくことはございません。

#### ・修正・追加がある場合

受領済みの講演要旨に修正・追加等ございます場合には事務局 [pacifichem@chemistry.or.jp](mailto:pacifichem@chemistry.or.jp) までご連絡願います。その際、修正が必要な箇所と、修正後の情報についても併せてご送付下さい。

#### ・講演キャンセル希望の場合

なんらかのご事情にて Pacifichem での講演ができなくなってしまった場合には、恐れ入りますが、講演取下げのお手続きが必要となりますので、事務局 [pacifichem@chemistry.or.jp](mailto:pacifichem@chemistry.or.jp) まで取下げ希望の旨、ご連絡下さい。その際、取下げを希望する講演の Control ID をあわせてご連絡いただきますようお願いいたします。

### 【重要】

Pacifichem 開催に関するプログラム公開日（2021年10月予定）までは申込み済み講演要旨は、「未発表」（※講演は未成立）であり、「未公開（公知ではない）」情報として取り扱われることとします。また、講演要旨に関する著者（講演申込者）の知的財産と知的所有権、著作権は保護されます。

申し込み手続きについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

連絡先・問合せ先

#### ■アメリカ化学会

##### PACIFICHEM 2021 Congress Secretariat:

c/o American Chemical Society

1155 16th St. N.W.

Washington, D.C. 20036, U.S.A.

FAX +1-202-872-6128, E-mail: [pacifichem@acs.org](mailto:pacifichem@acs.org)

ホームページ <https://www.pacifichem.org/>

#### ■日本化学会（※日本語にてご対応いたします。）

101-8307 千代田区神田駿河台 1-5

日本化学会 企画部 PACIFICHEM 係

電話 (03) 3292-6163 FAX (03) 3292-6318 E-mail: [pacifichem@chemistry.or.jp](mailto:pacifichem@chemistry.or.jp)

## 2021 年度他機関の賞・助成金の推薦候補者募集

運営会議

本会では、他の機関が贈呈する賞や助成金に対して、会員諸氏の優れた研究業績を推薦しています。本会を指名して推薦依頼があった下記につき、推薦を希望する会員各位は、申請財団所定の申請用紙を用い、本会締切日までに一式をお送り下さい（簡易書留または宅配便）。申請者の業績内容を審査した上で、推薦候補者となられた方について推薦いたします。

なお、今年度の実施が未定のものにつきましては、昨年度の要項に準じて記載してあります。必ず関係機関に照会（締切日、受賞対象分野、助成金の趣旨および内容等）の上、必要書類を各自でご準備下さい。記載のないものにつきましては、**提出先締切日の2ヵ月前を本会締切日（必着）**とします（応募書類は返却いたしません）。

**提出先** 101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5 日本化学会 他機関賞係

2021年4月1日現在

賞名	授賞団体	本会推薦件数	提出先締切日	本会締切日(必着)	賞金/助成額等	申請資格
島津賞	(財)島津科学技術振興財団 〒604-8445 京都市中京区西ノ京徳大寺町1 TEL 075-823-3240 FAX 075-823-3241 https://www.shimadzu.co.jp/SSF	定めなし	7月31日	5月31日	1件 賞状、賞牌、 副賞500万円	科学技術、主として科学計測に係る領域で基礎的研究および応用・実用化研究において、著しい成果をあげた功労者。 ※写真データは本会審査後、推薦候補者になられた方に追って提出いただきます。
島津奨励賞	同上	定めなし	7月31日	5月31日	3件以内 トロフィ、 副賞100万円	科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究および応用・実用化研究において独創的成果をあげ、かつその研究の発展が期待される毎事業年度の公募開始時において45歳以下の研究者。 ※写真データは本会審査後、推薦候補者になられた方に追って提出いただきます。
上原賞	(財)上原記念生命科学財団 〒171-0033 豊島区高田3-26-3 TEL 03-3985-3500 FAX 03-3982-5613 https://www.ueharazaidan.or.jp	1件	9月3日	7月12日	2件以内 正賞(金牌)、 副賞3,000万円	生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関する次の分野において、独創的な内容の研究に従事し、本分野の研究の進展に顕著な功績をあげ、活躍中の研究者。(1)東洋医学、体力医学、社会医学、栄養学、薬学一般、(2)基礎医学(上記以外)、(3)臨床医学(同)、(4)生命科学と他分野との融合領域(生体情報学、生体医工学、生体材料学など)。文化勲章受章者、文化功労者および日本学士院賞受賞者は対象から除く。
本多記念賞	(財)本多記念会 〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学金属材料研究所内 TEL 022-215-2868 http://hondakinenkai.or.jp/	1件	9月11日	7月12日	1件 金メダル、 副賞200万円	我が国に国籍を有する者で、理工学、特に金属およびその周辺材料に関連する研究を行い、基礎または応用面において優れた成果をあげ、科学文化の進展に卓抜な貢献をした者。団体は受賞対象としない。
本多フロンティア賞	同上	1件	9月11日	7月12日	2件以内 副賞50万円	理工学、特に金属材料などの無機材料、有機材料およびこれらの複合材料の3分野のいずれかの分野において、学術面あるいは技術面において画期的な発見または発明を行った者。団体は受賞対象としない。
井上学術賞	(財)井上科学振興財団 〒150-0036 渋谷区南平台町15-15 南平台今井ビル601 TEL 03-3477-2738 FAX 03-3477-2747 http://www.inoue-zaidan.or.jp/	2件以内	9月20日	7月12日	5件以内 賞状、 金メダル、 副賞200万円	自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた研究者で、その年の9月20日現在の年齢が50歳未満の者。
内藤記念科学振興賞	(財)内藤記念科学振興財団 〒113-0033 文京区本郷3-42-6 NKDビル8階 TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 https://www.naito-f.or.jp/index.php	1件	9月24日	7月12日	1件 金メダル、 副賞1,000万円	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究において、独創的テーマに取り組み、進歩発展に顕著な功績を挙げた研究者。
東レ科学技術賞	(財)東レ科学振興会 〒103-0021 中央区日本橋本石町3-3-16 日本橋室町ビル TEL 03-6262-1655 FAX 03-6262-1901 http://www.toray-sf.or.jp/	2件	10月9日	8月6日	2件 賞状、 金メダル、 賞金500万円	学術上の業績が顕著な方、学術上重要な発見をした方、効果が大きい重要な発明をした方、技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献した方。 ※推薦を受けた候補者は2年間選考の対象になります。
東レ科学技術研究助成	同上	2件	10月9日	8月6日	10件程度 1件3,000万円程度 まで、総額1億3,000万円	自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者(原則として推薦時45歳以下)。本助成が重要かつ中心的な研究費と位置づけられ、これにより申請研究が格段に進展すると期待されることが要件。
鹿島学術研究助成	(財)鹿島学術振興財団 〒107-8502 港区赤坂6-5-30 TEL 03-3584-7418 FAX 03-5561-2016 https://www.kajima-f.or.jp	定めなし	11月20日	9月17日	1件300万円以内 総額6,000万円 (1カ年)	(1)都市・居住環境の向上、(2)国土・資源の有効利用、(3)防災・危機管理の推進、(4)文化・自然環境の保全による国民生活の向上への寄与が期待される研究。公的機関所属の常勤研究者、または常勤研究者から構成される研究グループ。



賞名	授賞団体	本会推薦件数	提出先締切日	本会締切日(必着)	賞金/助成額等	申請資格
藤原賞	(財)藤原科学財団 〒104-0061 中央区銀座 3-7-12 王子不動産銀座ビル 6階 TEL 03-3561-7736 FAX 03-3561-7860 https://www.fujizai.or.jp/	定めなし	12月15日	10月15日	2件 賞状、賞牌、 副賞1,000万円	我が国の国籍を有し、かつ日本在住で、自然科学分野で科学技術の発展に卓越した貢献をした方。原則として個人を対象とする。
東京応化科学技術振興財団研究費の助成	(財)東京応化科学技術振興財団 〒211-0012 川崎市中原区中丸子 150 TEL/FAX 044-435-3116 https://www.tok-foundation.or.jp/	3件	1月22日	11月26日	13件程度 1件につき100万円を基準として増減有	化学の領域における基礎研究または応用研究を対象とし、その研究が先駆的・独創的であり、成果が科学技術の振興に貢献することが期待されるもので、研究の終了が概ね1年程度もの。公的機関所属の常勤研究者・技術者。
山田科学振興財団研究援助	(財)山田科学振興財団 〒544-8666 大阪市生野区箕西 1-8-1 TEL 06-6758-3745 FAX 06-6758-4811 https://www.yamadazaidan.jp/	8件	2月28日	1月17日	19件程度 1件につき100~500万円 総額4,000万円	自然科学の基礎研究に対する研究費の援助であり、実用指向研究は援助の対象としない。援助金を研究代表者の給与に充てることはできない。(1)萌芽的・独創的研究、(2)新規研究グループで実施される研究、(3)学際性、国際性の観点から見て優れた研究、(4)国際協力研究。当該研究者は代表研究者であることを必要とし、日本の研究機関に所属していること。 ※学会推薦の有無に関わらずweb申請が必要。
本田賞	(公財)本田財団 〒104-0028 中央区八重洲 2-6-20 ホンダ八重洲ビル TEL 03-3274-5125 FAX 03-3274-5103 http://www.hondafoundation.jp	定めなし	3月5日	1月17日	1件 賞状、 副賞1,000万円	エコテクノロジーの理念に沿った科学技術や社会の発展に顕著な貢献をした個人またはグループ。新発見や新発明といった狭義の意味での科学的、技術的成果に留まらず、直面している問題に対して解決策を見だし応用し、共用していくまでの全過程を視野に、世界中の人々の生活にまで寄与する業績。広範な学術分野また複数の分野をまたぐ学際的分野も対象とする。
江崎玲於奈賞	(財)茨城県科学技術振興財団 〒305-0032 つくば市竹園 2-20-3 TEL 029-861-1205 FAX 029-861-1209 https://www.i-step.org/index.html	2件以内	3月16日	1月17日	原則1名 賞状、 副賞1,000万円、 記念品	日本国内の研究機関においてナノサイエンスあるいはナノテクノロジーに関する研究に携わり、世界的に評価を受ける顕著な研究業績をあげた研究者。



## 10月23日は化学の日 「2021年版缶バッジ」デザインの募集

日本化学会、化学工学会、新化学技術推進協会、日本化学工業協会は毎年10月23日を「化学の日」、その日を含む一週間を「化学週間」と決め、様々な活動を行っています。さらに多くの皆様に「化学の日」に参加していただくことを目的に、2021年版「缶バッジのデザイン」を募集することになりました。ふるってご応募下さい。

■**応募資格** 小学生以上なら、どなたでも応募できます(1人1点)。

■**応募締切** 2021年5月20日(木)必着

■**応募方法** 応募要領にしたがって作品を制作し、「2021年版缶バッジデザイン事務局」宛にフォームまたは郵送にてご送付下さい。

(1) 応募フォーム

指定の応募用紙(wordファイル)と作品(JPGファイル2MB以内、解像度300dpi)を送付下さい。

(2) 郵送

指定の応募用紙と作品を郵送で送付下さい。JPGファイル(解像度300dpi、CD-R保存)とカラー出力した用紙両方を送付下さい。手書きの際は原紙のみで構いません。

(3) 団体応募

学校単位等でのお申し込みの場合は団体申込用紙をご利

用下さい。

■**応募用紙について**

日本化学会の化学の日ホームページ「化学の日・缶バッジデザイン募集」から下記2点の指定用紙をダウンロードして下さい。

① 応募用紙

・氏名、住所、電話番号、E-mailアドレスなどを記入して下さい。

② デザイン画用紙

・用紙下部にある該当部門に○印をつけ、氏名、作品コンセプトを記載して下さい。

・デザインには下記3つの事項を必ず盛り込んで下さい。

1. 10月23日

2. 化学の日

3. アボガドロ定数 =  $6.02 \times 10^{23} \text{ mol}^{-1}$

## ■作品応募について

- ①デザイン画用紙を縦長に使用し、カラーで作成して下さい。画材は自由です。直径4cmの円形に縮小されることを考慮し、また、外円(点線)部まで色付けし作図して下さい。
- ②PCを使ってデザインされた場合はカラーコードを何う場合がございますので、各自カラーコードをお控え下さい。
- ③作品をデジタル化できない場合は原画をお送り下さい。事務局でデジタル化いたしますが、その場合色彩・色調が多少変わる可能性があることをご了承下さい。

## ■選考方法

日本化学会の2021年版缶バッジデザイン選考委員会(委員長・玉尾皓平 豊田理化学研究所 所長・日本化学会元会長)により決定します。

## ■結果発表

2021年6月中旬(予定)。日本化学会ホームページ上で発表いたします。

## ■採用作品および賞

最優秀賞(1点)3万円(缶バッジとして採用)、優秀賞(1点)1万円、小・中・高校生特別賞(3点)5,000円分

のamazonギフトカード

## ■応募についての注意

1. 応募作品は未発表の作品とします。
2. 採用作品は使用の際に若干変更を行う場合があります。
3. 採用作品に関する著作権、および意匠・商標出願、登録等のすべての権利は日本化学会に帰属します。
4. 応募された作品は返却いたしません。
5. 提供いただいた個人情報は日本化学会が管理し、正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。
6. 日本化学会は受領した作品の管理について万全の注意を払いますが、天災、不慮の事故などによる作品の不達、紛失、破損については一切責任を負いません。

## 応募・問い合わせ先

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

公益社団法人 日本化学会 企画部

「2021年版缶バッジデザイン事務局」

E-mail: pr@chemistry.or.jp

## 会員委員会からのお知らせ

### 【日本化学会への入会勧誘のお願い】

日本化学会の会員数は残念ながら減少が続いております。力強い化学会を目指すために、なにより会員増強が大きな意味を持つと考えております。

2016年6月16日から中高生会員制度を開始しました。身近な方で入会されていない方がおられましたら、積極的に入会をお勧め下さい。会員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

### 【マイページについて】

本会ホームページの「MyCSJ日本化学会マイページ」では、会誌送本先など会員登録内容の変更、会費納入状況の確認、クレジットカードでの会費の納入などが行えます。

### 【日本化学会新入会者のご紹介】

2021年2月承認の本会新入会者は次のとおりです。

#### ○個人正会員(13名)

大倉 瞬 沖野 晃俊 河高 太 小林 一貴 渋谷 明規 鈴木 良太 田島 健次 堀家 匠平  
前吉 雄太 松本 由之 椋本麻記子 森垣 篤典 Santanu Mukherjee

#### ○学生会員(95名)

阿南 梨紗 阿部 瞭太 石塚 ゆか 犬塚 匠 上田 有沙 上野 ジン 衛藤 元 大塚 和輝  
大西 純平 岡本 千怜 小川宗一郎 小川 真季 影山 諒人 梶原 光稀 角田 渉 金澤なぎさ  
亀井 幹太 蒲原 信弘 川口 悠伍 北崎 裕己 北山 元晴 金 俊式 木村 圭佑 木村 隼平  
木村 友哉 木村 直真 工藤 裕太 倉橋 駆 孔 園園 甲野 健人 小阪 空 小島 直也  
小谷 駿輔 近藤 孝則 齋藤 司 阪本 佳倫 櫻井 春香 佐々木まどか 佐藤 梨奈 柴原 大樹  
下里 泰由 下村龍之介 正田 優佳 新谷 俊樹 菅野 由稀 鈴木 海斗 鈴木 燎侍 角 真由  
苑田 千央 泰地 颯弥 田浦 悠也 高杉 水晶 高田 琉星 高橋 大地 竹内 睦 塚田 哲義  
辻合 雄造 筒井 久澄 鄧 学良 戸田 皓紀 内藤 研 中島 悠真 中嶋 幸穂 中谷 侑華  
中町 彩乃 中村 滉諒 難波 直大 昇 一隆 野村 夏生 橋床亜伊瑠 畑山 友希 濱崎 誠士  
早坂 稜 久田 雅人 平山 拓杜 藤井 達也 藤田 優真 松岡 由佳 松永 晃 万城目大和  
三上 智紀 水野 彩香 村本 一将 山岡 敏樹 山口 和志 山下 裕太 山田 大貴 山中 友葵  
山本 翔吾 楊 奕 吉岡 康貴 吉田 瑠佳 吉山 拓諒 渡部 裕太 Trinh Giang

\*教育学生会員、ジュニア会員を含む。

#### ○教育会員(5名)

安藤 生大 飯田 由香 河井 伸之 松田 拓未 宮崎 優哉

## 〔会員訃報のお知らせ〕

11名の方の訃報に接しました。本会はここに謹んで哀悼の意を表すとともにご冥福をお祈りいたします。

上田 隆蔵 梅沢 智明 大内 俊二 大友 和彦 河村 正一 齊藤 規夫 笹川 啓作 中島 広志  
中田 尚男 松原 睦哉 三上 直彦

## 化学だいすきクラブ事業醸金者ご芳名

(令和3年1月16日～令和3年2月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○3,000円まで 河野 寛 横山 拓史 市川理香子

## 化学遺産事業醸金者ご芳名

(令和3年1月16日～令和3年2月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○3,000円まで 横山 拓史

## 〔化学振興〕活動醸金者ご芳名

(令和3年1月16日～令和3年2月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○100,000円 露木 孝彦  
○10,000円 深瀬 浩一  
○5,000円 八木 達彦  
○3,000円まで 横山 拓史

## 〔化学と教育〕誌 目次紹介と購読方法

化教誌編集委員会

## 1. 目次紹介 (第69巻第4号)

ヘッドライン：市民として必要な基礎・基本の化学XV

児童・生徒・学生の「わからない」をどう  
教えているか

粒子概念獲得へのはじめの一步～食塩と砂糖の結晶の観察から～……………菅原 英淑

「どうして？」を一步進んだ学びで深い理解に—中学理科  
に高校化学基礎をプラスした学び—……………栗岡 司郎

高校生による国際共同課題研究—生徒のわからないへの  
関わり方—……………松浦 紀之

滴定実験で中和に必要な量を正確に定量するための工夫  
……………中村 文子, 木村 憲喜

魅惑の香りで化学の世界に誘い, 生物の化学コミュニケーションを学ぶ……………小寺 正敏

教科書から消えた「硫黄の同素体」の実験の復活を目指  
して—リモネンを用いた斜方硫黄の生成—

……………北野 健一, 野田 達夫, 東田 卓

その他に, [実験の広場], [新・講座] など。

※内容は変更になる場合があります。

## 2. 購読方法

〔個人〕

1) 日本化学会会員の方は, ゆうちょ銀行または郵便局に備え付けの振替払込用紙に, 会員番号, 氏名, 連絡先を明記の上, 購読料 (年間5,400円) を下記宛にご送金下さい。

※送金先 振替払込口座 口座記号番号 00170-0-6058 加入者名 公益社団法人 日本化学会

2) 化学または化学工業に関係のある学校教育に従事する方で購読希望の方は, 教育会員 (年間会費7,200円) として入会されますと化学と教育誌の無料配布が受けられます。また教育学生会員の方は年間会費が4,800円です。入会申込は, 日本化学会ホームページの入会フォーム (<https://mypage.csj.jp/application.php>) から行って下さい。

〔団体〕

学校, 図書館, 官公庁等, 団体として購読することもできます。公共会員 (年間9,000円) に入会されますと無料配布が受けられます。入会申込書は下記宛にご請求下さい。請求先: 101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

日本化学会総務部会員 G 電話 (03) 3292-6169

E-mail: member@chemistry.or.jp